
グリムの異世界

吉岡 遥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

グリムの異世界

【Nコード】

N5877E

【作者名】

吉岡 遥

【あらすじ】

年端もいかぬ少年少女の時に出会い、また運命的な邂逅を果たしてから約一年。彼らはあの時に浮かび上がったきた魔方陣の文字を求め、ある手順を踏む。そして二人はグリムの世界に召還されて 【童話をモチーフにした異世界召還ファンタジーです】

プロローグ

さて。

運命の道しるべ。

あるのは交差点。

何の変哲もない、どここの界限にも存在しているただの小さな十字路。路傍には石ころが転がり、生い茂った雑草は根を生やしている。ぐるりと辺りと見渡してみても、コンクリートで塀ブロックが並んでいる平凡な住宅があるだけ。申し訳程度に、観葉植物やら松の木やらがひよっこり顔を覗かせている。ある電信柱には、町集会、6/25、9:30より開始、と書かれた紙が貼ってあった。みんな来るんですからきてくださいよう。村おこしの一環で生を吹き込まれた二次元の小人キャラクターたちが紙面で踊る。ここは自動車なんてそう通らない。自転車もあまり通らない。そんな田舎じみた風景が広がる場所の交差点。

しかし。それはともかく。

空は快晴。一転の曇りもない淡青色の色彩。今は、春に充填されたエネルギーが躍動しはじめる、初夏の季節。

そう、まさにこの瞬間であった。

その場所に差し掛かろうとする少年と少女がいた。

六時の方角からやってきた男の子。彼は未来への希望を抱きながら、上を向いて歩く。時折、一リットルの牛乳パックをごくごくと飲み、大股で自信を持って闊歩する。かたや、九時の方角からやってきた女の子。彼女は地面をきつと睨みつけ、下を向いて歩く。手にしていたバスケットかこの中身は、購入したばかりのりんごでい

っばいだった。二人は足早にその地点を過ぎ去ろうとしていく。無論、特に立ち止まる理由もないから当然であろう。だけど、やがて衝突してしまうとは知らずに。しかも、それが偶然ではなく必然だというのに。ただ、蒔いた種が根をはり、葉を重ね、実をつけていく過程のための始まりだったのだ。

これは、今ここで二人が出会ってから何年か先の話。もう一度この場所で邂逅^{かいこう}を果たしてから一年後に、世界がくるくるとまわりだした物語である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5877e/>

グリムの異世界

2010年10月9日04時34分発行